

aicBOOKS

海外投資実践マニュアル

HOW TO INVEST OVERSEAS OFFSHORE

オフショア

サンプル版

サンタンデール・プライベートバンキング 口座活用編



本書はすでに Santander Private Banking に口座を保有している方のためのマニュアルです。

2014年より Santander では日本人の新規口座の開設が認められなくなりました。

海外投資を楽しむ会・編著

alternative investment club

サンプル版のご注意

本PDFはサンプル版のため、目次と一部ページのみを抜粋して掲載しています。

【重要】

- 本書は海外の金融機関の一般的な取引方法を解説したもので、その一例として具体的な金融機関を紹介しているが、これらの金融機関の利用を推奨するものではない。本書で紹介した金融機関と有限会社オルタ・インベスト・コム（以下、AIC）はなんの関係もなく、AICは各金融機関の信用度を保証しない。金融機関との取引はあくまでの各自の判断で行なっていただきたい。
- 本書で紹介された金融機関を利用したことから仮になんらかの損害が生じたとしても、その判断はあくまでも各自の自由な選択によるものであり、AICはその損害に対していっさいの責任を負わない。
- 本書のデータは2014年8月現在のものであり、それ以降の変更に関しては各自で確認されたい。重要な変更については、海外投資を楽しむ会ホームページに随時アップする。

●海外投資を楽しむ会 <http://www.alt-invest.com>

- リンクが切れているなど、お気づきの点がありましたらご一報ください。 info@alt-invest.com

Introduction

いまでは貴重になったオフショアバンクの口座を使いこなそう

本書は英国王室の自治領ジャージー島にあるオフショアバンク、サンタンデール・プライベートバンキング（サンタンデール PB）に口座を保有している方のために、その活用法をまとめたものです。

サンタンデール PB はイギリスの大手銀行アビー・ナショナルの子会社で、旧名をアビー・インターナショナルといいました。アビー・ナショナルをスペインの大手金融グループ、サンタンデールが買収したことによって、銀行名がサンタンデールに統一されることになったのです。

このオフショアバンクは元はケイター・アレンという独立した銀行で、それがアビー・ナショナルの傘下に入りました。私たちはケイター・アレン時代の 1998 年に日本人としてはじめて口座開設し、それ以降、AIC 会員の皆様にもご紹介してきました。その意味では、もっとも思い出深いオフショアの金融機関でもあります。

今回、口座保有者の方に限定してその活用法をまとめたのは、現時点では日本人の口座開設が認められていないためです。

2007 年の世界金融危機はグローバルな金融市場を激震させましたが、その余波でオフショア（タックスヘイヴン）をめぐる状況も大きく変わっています。米国は FATCA（外国口座税務コンプライアンス法）によって、スイスなどタックスヘイヴン国を含むすべての金融機関に米国人の口座情報の報告を義務づけました。また EU では域内の金融機関に対して、口座名義人が居住する国の税務当局に口座情報を自動的に開示させる改革が進められています。

これまでジャージー島の金融機関は、英国から認められた自治権によって、（国際犯罪等を例外として）いかなる国に対しても口座情報を開示しない守秘性を有していましたが、今後は本国イギリスはもちろん、EU 加盟国の税務当局に対しても、そこに居住する口座名義人の口座情報が通知されることとなります。その結果、イギリスや EU 圏以外の、（日本を含む）口座情報交換協定を結んでいない国の居住者の新規口座開設が認めなくなったのです。

オフショアバンクのいちばんの魅力は、ドル、ユーロ、ポンドといった主要通貨でカード（VISA デビットカード）が持てることです。こうしたサービスを提供できる金融機関はほとんどないので、その意味で、サンタンデール PB の口座はとても貴重なものになりました。

本書では、最近のコンプライアンス強化にともなう本人確認の手続きを新たに加え、サンタンデール PB の活用法を具体的に解説しています。「口座を保有しているが使いこなせていない」という方は、これを機会にぜひチャレンジしてみてください。

海外投資を楽しむ会

海外投資実践マニュアル

オフショア

Santander Private Banking

【口座活用編】

CONTENTS

Introduction	いまでは貴重になったオフショアバンクの口座を使いこなそう	3
【Santander Private Banking 基本データ】		10
1. Santander PB の特徴と口座の維持		11
■ヨーロッパ最大手銀行のオフショア部門		11
■口座維持の条件		12
2. 口座の種類と選び方		14
■口座の種類		14
①ゴールド口座 Gold Bank Accounts		14
②コール口座 Call Accounts		15
③インスタントアクセス口座 Instant Access Savings Accounts		15
④定期預金口座 Fixed Deposit Contracts		15
⑤通知預金口座 Notice Account		15
■口座の選び方		16
①どの通貨で利用したいのか		17
②VISA カードは必要か		17
③短期に使う予定があるか		17
3. サービスとシステム		19
■口座維持手数料		19
■基本サービス		19
①テレフォンバンキング Telephone Banking		19
②インターネットバンキング Internet Banking		20
③VISA カード VISA Cards		20
④英ポンド建て小切手帳 GBP Chequebook		21

4. 個人情報の更新	22
■個人情報登録書	22
個人情報登録書の記入方法	22
■必要書類	32
①本人確認用書類	32
②住所証明用書類	34
③収入証明用書類	35
■認証者と認証方法	35
①認証者	36
②認証のルール	36
(a) パスポートのコピーの認証	
(b) 日本語の書類の翻訳認証	
■書類の郵送	37
書類の郵送先	39
5. 口座番号のルール	40
(a) Customer Reference Number：顧客番号（カスタマーレファレンス番号）	
(b) Account Number：口座番号	
(c) IBAN：アイバン	
6. 口座への入金方法	42
■電信送金で送る	42
①送金できる通貨	43
②送金先情報	43
③送金にかかる手数料	46
(a) 送金手数料	
(b) 為替（両替）手数料	
(c) 銀行取扱手数料・リフティングチャージ Lifting Charge	
(d) 送金受取手数料	
(e) 送金手数料をもっとも安くする方法	
④海外送金のトラブル対処法	48
■送金小切手をつくって郵送する	49
■他の金融機関の個人小切手を郵送する	50
①外貨小切手帳から振り出して郵送する	50
②自分宛ての小切手を郵送する	50

7. 口座からの出金方法	51
■ ATM を使って引き出す	51
■ 電信送金で送る	52
①送金確認の電話がかかってきたら	52
②送金した資金が届かなかったら	53
■ ポンド建て小切手を利用する	53
8. VISA カードの使い方	54
■ VISA カードの特徴	54
■ ATM での使い方	56
■ ショッピングの方法	57
■ カードの更新後のアクティベーション	57
■ カードが更新されない場合	59
■ 海外旅行で使用する場合の注意点	60
■ カードの紛失・盗難の対処法	61
9. 小切手の使い方	62
■ 小切手の記入方法	62
■ 小切手の上手な使い方	63
10. テレフォンバンキングの登録と使い方	64
■ テレフォンバンキングサービスの登録書の提出	65
■ コードワードの設定	66
①コードワード設定時の伝え方	68
②コードワードの確認方法	70

■英語に自信がない人の対処法.....70

■為替レートの確認方法.....71

11. インターネットバンキングの登録と使い方.....72

■インターネットバンキングの登録.....72

(a) Membership Number : メンバーシップナンバー

(b) Login Password : ログイン・パスワード

(c) Security Code : セキュリティコード

■ID、パスワードの登録方法.....73

【Step1】 Membership Number の取得と Security Code の設定.....73

【Step2】 仮パスワードの受取り.....75

■トップページ（オープンサイト）76

■登録とログイン.....78

パスワードの登録.....78

■ログイン後のトップページ.....80

■口座の管理.....81

① Balances : 残高照会.....81

② Statement : ステイトメント.....82

■送金指示の出し方.....84

① Transfer between my accounts : 口座間振替.....85

② Sterling Payments to UK : イギリス内へのポンド送金.....86

③ Foreign Currency Payments and Sterling Overseas payments :

外貨送金およびポンドのイギリス外送金.....87

■パスワード・セキュリティコードの変更.....90

①ログインパスワードの変更.....90

②セキュリティコードの変更.....90

■その他の問い合わせ.....91

12. 登録内容の変更／追加口座の開設／口座の閉鎖.....92

■住所や電話番号、名義人名の変更.....92

①インターネットでフォーマットをダウンロードし、郵送する.....92

②テレフォンバンキングを利用する.....93

③英文の指示書 Instruction Letter を郵送する.....93

■名義人の削除.....93

■追加口座の開設.....93

■口座の閉鎖.....97

Santander Private Banking

サントアンデル・プライベートバンキング

口座活用編

【基本データ】

●所在地

Santander Private Banking

PO Box 545

19-21 Commercial Street

St Helier

Jersey

JE4 8XG

UK

●営業時間

・月曜～金曜日、AM8:00～PM8:00

※ イギリス時間。イギリス時間は日本時間－9時間（夏時間の場合は－8時間）。日本時間では、PM5:00～AM5:00（夏時間の場合はPM4:00～AM4:00）。

●ホームページ（インターネットバンキングを含む）

・ <http://www.santanderpb.je/>

●電話番号

・ +44-1534-885-000（カスタマー・サポート／テレフォンバンキング）

※ 受付時間は上記営業時間と同じ。

※ 日本からかける場合は、最初に国際電話識別番号（010）が必要（事業者番号が必要な場合もある）。

●Eメールアドレス

・ info@santanderpb.je（口座保有者専用）

・ <http://www.santanderpb.je/contact-us/comments>（問い合わせフォーム、オープンサイト）

1. Santander PB の特徴と口座の維持

■ヨーロッパ最大手銀行のオフショア部門

サンタンデール・プライベートバンキング Santander Private Banking は、ヨーロッパの代表的なタックスヘイヴンである、イギリスの自治領ジャージー島を拠点とするオフショアバンクです。正式な銀行名は Abbey National Treasury International Limited (ANTIL)。親会社はイギリスの大手銀行アビーナショナル Abbey National Plc ですが、2004 年 10 月、スペイン最大手のサンタンデール・セントラル・イスパノ銀行 Banco Santander Central Hispano (BSCH) と合併し、世界第 7 位、ヨーロッパでは HSBC に次ぐ第 2 位のサンタンデール Santander グループの傘下に入りました。



ジャージー島の Santander Private Banking (Abbey International 当時のもの)。表に看板はなく、銀行名は、ガラスに刻まれているだけ。下は受付ロビー。



サンタンデールグループは 150 年以上の歴史を持ち、ヨーロッパと中南米を中心に世界 40 カ国以上に 7 千万人以上の顧客を擁し、プライベートバンキングを含む銀行業務、資産管理、保険などを扱っています。

Santander Private Banking は、Santander Global Private Banking Division（プライベートバンキング部門）の一部で、オフショア金融部門として、世界各国の人々にグローバルなサービスを提供しています（ただし、振込先の銀行名などは Abbey National Treasury International Limited のまま変更はありません）。

Santander Private Banking（以下、Santander）と当会（海外投資を楽しむ会）との関係は古く、Santander が Abbey International となる前、ケイターアレン Cater Allen 銀行としてオフショアサービスを提供していた 1997 年に日本人として初めて口座を開設。オフショア投資のハブ銀行として利用し、会員の皆様に紹介してきました。

Cater Allen 銀行はその後、Abbey National 銀行のオフショア部門 Abbey National Offshore（ANO）となり、それが Abbey International と改名、次いで Santander となりました。日本人顧客は 3 千人を超え、オフショアバンクの中でも、日本人顧客への理解と対応ができる数少ない銀行として知られるようになりました。

Cater Allen 銀行時代には、シンプルな申込書とパスポートのコピーさえ郵送すれば誰でも簡単に口座を開設することができましたが、徐々に口座開設のハードルが上がり、9.11 同時多発テロ後に強化されたマネーロンダリングに対する規制から、住所証明のほか、収入や預金の証明も求められるようになりました。さらに 2009 年より、口座を開設するためには、50,000GBP 相当額以上の入金が必要となり、2014 年になってついに日本人の口座開設が認められなくなりました（口座の維持は可能です）。

■口座維持の条件

現在、海外にあるオフショアバンクで、日本人が郵送だけで口座開設できるのは HSBC Expat くらいなので、Santander の銀行口座はとても貴重になりました。ただし、口座を維持するにはいくつかの手続きをクリアしなければなりません。

以下、その内容を明記します。

● Santander から求められた場合、登録情報の確認（更新）のために、「Client Details Form（顧客詳細フォーム）」（FormC と呼ばれることもある）と必要書類（パスポートのコピー、住所証明、収入証明など）を提出しなければならない（パスポートのコピーなどは認証資格者による認証が必要）。⇒具体的な方法は P22 へ

1. Santander PB の特徴と口座の維持

●住所など、個人情報を変更する場合は、「Change of Details Form（個人情報変更フォーム）」を提出しなければならない。⇒具体的な方法は P92 へ

●送金指示などを出した場合(Santander から出金する場合、および Santander に高額の入金をした場合)は、Santander から内容確認の電話がかかってくる。その電話にきちんと対応しないと、手続きは完了しない（高額の入金の場合は、資金の源泉の証明を求められることもある）。⇒具体的な方法は P52 へ

●ゴールド口座の VISA カードを保有しているが長期間利用していない場合、カードの更新時期の少し前に、カードが必要かどうかの問い合わせレターが届く。これに返信をしないと、有効期限が過ぎてもカードが郵送されて来ない（利用したい旨を説明すれば再発行は可能）。⇒具体的な方法は P59 へ

●現在、テレフォンバンキングおよびインターネットバンキングを利用していない場合も、追加で利用申請は可能。ただし、最初にテレフォンバンキングに登録し、その後インターネットバンキングに登録をする。その際、自分で Santander に電話をかけて、ログイン用 ID などを取得する必要がある。⇒具体的な方法は P64 へ

なお、現在は口座残高（保有しているすべての口座の合計額）については、口座開設時の最低預金額とされている 50,000GBP をクリアしていなくても口座を維持できていますが、今後、この条件が厳密となり、最低預金額を下回った場合、口座維持手数料が発生する可能性があります。

以上の点を考慮して、口座を維持するのが難しいと判断した場合は、口座を閉鎖してしまうのもひとつの方法です。

●口座の閉鎖は閉鎖依頼書（フォーマットは用意されていないので各自でレターを作成）を郵送する。書類が到着すると Santander 側から確認の電話がかかってくるので、それに対応しないと手続きは完了しない。⇒具体的な方法は P97 へ

本書ではこれらの手順について、詳しく解説していきます。

2. 口座の種類と選び方

それではまず、現在の Santander の各口座について紹介しましょう。

Santander は総合口座システムではないので、口座ごとに最低預金額や異なるサービスが設定されています。

■口座の種類

以下、日本人でも利用できる口座を中心に紹介します。

①ゴールド口座 Gold Bank Accounts

もっとも利用者が多い Santander の看板口座。いつでも出し入れ自由の普通預金口座で、米ドル、ユーロ、英ポンドの3口座あり、それぞれの通貨ごとに、発行・年会費ともに無料で VISA デビットカード（Gold カード）が発行される（同一通貨での ATM での現金の引き出し手数料も無料）。英ポンド口座では、申請をすれば小切手帳も発行される（手数料は無料）。

通貨ごとに最低預金額が設定されていて、月の平均預金額がその金額を下回ると口座維持手数料が発生する。

●ゴールド口座の条件

口座の種類（通貨）	米ドル	ユーロ	英ポンド
最低預金額	7,500USD	7,500EUR	5,00GBP
最低預金額を下回った場合の 口座維持手数料（月）	30USD	22.50EUR	15GBP

※口座開設時に最低預金額以上の入金が必要。

利息は日割計算だが、カードの利用分は月末にまとめて決算されるので、その間は利息を得ることができる。利息の支払は四半期ごと。ステイトメントは毎月発行される（登録している住所に郵送される）。

②コール口座 Call Accounts

日本の普通預金口座と同じ、出し入れ自由の口座。米ドル、ユーロ、英ポンドの3口座ある。カードや自動引き落としなどのサービスは利用できない。利息の支払いは年1回。

最低預金額は以下のとおり。この額を下回っても口座維持手数料は発生しないが、2014年8月現在、預金額に関係なく、いずれの通貨も利息は発生していない。

定期預金を利用する場合は、かならず同一通貨でコール口座の開設を求められる。

●コール口座の条件

口座の種類 (通貨)	米ドル	ユーロ	英ポンド
最低預金額	1,500USD	1,500EUR	1,000GBP

※口座開設時に最低預金額以上の入金が必要。

③インスタントアクセス口座 Instant Access Savings Accounts

他の商品に比べて利息が高い英ポンド建て普通預金口座。引出しは年6回まで無料だが、それ以降は毎回50GBPの手数料が発生する。

利息の受取頻度を月1回と年1回から選択できる（複利計算されるため年1回の受取のほうが利息は多くなる）。ステートメントは年2回発行（6月と12月）。口座開設時の最低預金額は3,000GBP（下回った場合、手数料は発生しないが、利息もなし）。

出金方法は、名義人本人の口座への送金のみ（他銀行の口座でもOK）。

④定期預金口座 Fixed Deposit Contracts

預入期間は6カ月が基本。英ポンドについてはその他の期間も選択できる。満期日前に例外的に引き出す場合はペナルティが発生する。

利用時には、同時に同通貨でのコール口座の開設が求められ、満期日後の資金は、とくに指示を出さなにかぎり、自動的にコール口座に入金される。

それぞれの最低預金額は50,000USD/EUR/GBP。利息は圧倒的に英ポンドが有利。

⑤通知預金口座 Notice Account

預金を引き出したい旨を銀行側に通知してから、一定の据置期間後に引き出すことができる口座。引出

しは一部・全額ともに可能。据置期間前に例外的に引き出す場合はペナルティが発生する。

英ポンドのみ対応で、最低預金額は 5,000GBP または 25,000GBP。定期預金の一種だが、通常の定期預金に比べて最低預金額が低く、コールより金利は高い。

据置期間によって、以下の2つの口座に分けられる。いずれも利息は変動金利で、引出日分も利息が付く。

(a) 通知預金 Notice Account

最低預金額は 5,000GBP。通知してからの据置期間は 30 日、90 日など。それ以降であれば引出手数料無料。

(b) プレミアム通知預金 Premium Notice Account

最低預金額は 25,000GBP。その分、金利も高くなっている。通知してからの据置期間は 60 日、120 日など。それ以降であれば引出手数料無料。

*

上記以外にも、イギリスのベースレート Base Rate（イギリス中央銀行の買いオペ金利）に連動して利息が変わる「ベースレートトラッカー Base Rate Tracker」や仕組商品 Structured Products などありますが、これらは「Advisory Service」を利用して購入するのが基本です（「Advisory Service」とは、手数料を支払って、ファンドマネジャーなどに資産運用のアドバイスを受けるサービスのこと）。

現在の各口座の利息は、以下からダウンロードが可能です。

▶金利表 http://www.santanderpb.jp/documents/onsale_interest_rates.pdf

当日の採用レートは、テレフォンバンキングで確認できます（P71 参照）。

■口座の選び方

口座開設時の預金額の合計が 50,000GBP 以上であれば、利用する口座は 1 つでも複数でも OK です（最

低預金額が設定されている口座については、その金額を超える額を入金しなければなりません。

では実際には、どの口座を利用するのがいいのでしょうか。

① どの通貨で利用したいのか

マルチカレンシー口座はなく、通貨ごとに口座を開設するので、どの通貨での利用頻度が多いのかを考える。たとえば、子どもがヨーロッパに留学する予定があるならユーロ口座、来年アメリカ旅行をするので米ドル口座、英ポンド建てのファンドの購入に当てたいのでポンド口座など。

とくに決まっていなければ、金利面でも、手数料面でも、もっとも優遇されているのは英ポンド。これは Santander (Abbey) がもともとイギリス系の銀行で、顧客の大半がイギリス人だから。

ゴールドの英ポンド口座の場合、自動引落し Direct Debit や他行への自動振替 Standing Order の設定手数料が無料（自動振替の場合、通常の送金手数料はかかる）で、ファンドの自動積立てやオフショア生保の支払いなどに利用できる。高金利の英ポンド普通預金「インスタントアクセス口座」も検討の余地あり。

② VISA カードは必要か

Santander の VISA デビットカードは VISA インターナショナルのネットワークに加入している ATM もしくはショップであれば、世界中どこでも利用が可能。ただし Santander 以外の ATM では出金のみ。日本の ATM で使った場合は円での引出しになる（詳しくは P54 参照）。

Santander に ATM カードはなく、ゴールド口座以外ではカードは発行されないので、カードを利用したい場合の選択肢は、ゴールド口座しかない。

カードがない口座の場合、預金を引き出すには、インターネットバンキングやテレフォンバンキングを利用して送金の指示を出すか、送金指示レターにサインを添えて郵送する（いずれも電話確認が必要）。カードがあれば緊急時には日本からでも引き出せるので、やはりカードがあったほうが安心。

③ 短期に使う予定があるか

常に資金を引き出せる状態にしておきたい場合は普通預金タイプ。一定期間まとまった資金を預けられるのであれば、英ポンド建てで定期預金や通知預金を。

*

追加口座の開設はインターネットバンキング内のメールフォームで依頼をして申込書（PDF ファイル）

を入手し、それを郵送するだけです（P93 参照）。その場合、すでに持っている口座の資金に余裕があれば、それを振り替えるのがもっとも簡単です。追加で預金する場合は、送金小切手などを郵送するか、口座ができてから、その口座宛てに日本などの金融機関から送金します。

3. サービスとシステム

現在、利用できるサービスおよび手数料は以下のとおりです。

■口座維持手数料

口座維持手数料というものは基本的にありません。ゴールド口座のみ、最低預金額を下回った場合に手数料が発生します。

なお、先に紹介したように、現在はすべての預金合計額が 50,000GBP 以上なくても、とくにペナルティはありませんが、今後は必須となり、口座維持手数料などの方法で徴収される可能性もあります。

■基本サービス

支店を持たない Santander はインターネット専用銀行に似ており、資金の出入れや移動をどのように行なうかがもっとも重要なポイントです。香港とは異なり距離的にも遠いので、直接出向いて交渉するわけにもいきません（顧客用の窓口がありません）。また、基本的にすべて英語での対応になります。

利用できるツールは以下のとおりです。

①テレフォンバンキング Telephone Banking

イギリス時間で午前 8 時～午後 8 時まで利用可能。送金指示からトラブルの解決まで、直接オペレータと話をするシステム。オペレータは基本的に英語しか話せないので、ある程度の英語力が求められる。

また、口座の残高照会や資金移動などの指示を出す場合は、口座番号や名前のほかに、「コードワード Codeword」と呼ばれる暗証番号が必要になる。

口座開設後いちどもコードワードを登録したことがない場合や、コードワードを忘れてしまった場合は、

再度書類を提出すれば再取得も可能（詳しくは P64 参照）。電話での英語に自信がない場合は電話通訳業者を使うことも認められている（P70 参照）。

② インターネットバンキング Internet Banking

日本から口座を管理するのに最適なツール。インターネットにアクセスできる環境があれば、いつでもどこでも利用できる。共同名義の場合は別々に登録が可能。以下のサービスが利用できる。

- 残高照会 Balances：利用明細 Statement、取引確認 Transactions を含む
- 資金移動 Transfer Money：口座間、イギリス国内銀行、イギリス国外銀行への送金
- 自動引落し確認 View Direct Debits：公共料金の引落しなどの確認（設定は引落先にて行なう）
- ログインパスワード、セキュリティコードの変更
- 各種問い合わせ

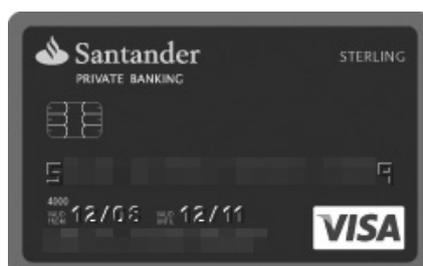
利用にあたっては、テレフォンバンキングへの登録が前提。ID やパスワードは電話での取得が条件となっている。長期間使用していなかったために、ID やパスワードがわからなくなってしまった場合は、テレフォンバンキングを利用して再取得することも可能（詳しくは P72 参照）。

③ VISA カード VISA Cards

ゴールド口座では、口座（通貨）ごとに、その口座にリンクする VISA カードが発行される。カードの発行手数料、入会金、年会費、ATM での使用料など一切かからない。3つの通貨で口座を開設すれば、3通貨のカードを保有できる。ただし、それぞれの口座に最低預金額以上の残高が必要になる。

● VISA カードを利用するための最低預金額

最低預金額と手数料	米ドル	ユーロ	英ポンド
最低預金額	7,500USD	7,500EUR	5,000GBP



Santander のカードの共通の特徴は以下のとおり。

- デビットカードなので与信はなく、口座残高の範囲内でしか利用できない（預金額が多くてもクレジットカードは発行されない）。
- VISA と提携しているショップで利用可能。
- VISA のグローバルネットワークに加入している世界中の ATM で引出しが可能（残高照会は不可）。日本国内では、VISA International（グローバルネットワークと提携）のほか、セブン銀行やゆうちょ銀行、シティバンク銀行の ATM で利用できる。
- イギリス国内の Santander の ATM では、入金、残高照会および PIN の変更も可能。
- ATM から出金できるのは現地通貨のみ（日本で引き出す場合は円）。
- カードの決済通貨と同じ通貨で引き出す場合には利用料無料。
- カードの決済通貨と出金する通貨が異なる場合は、最高 3% の為替手数料が発生する。
- ATM での利用はその場で、ショッピングで利用した場合は VISA から Santander へ通知された時点で口座から利用額が引き落とされる。
- ショッピングで利用した場合は、利用した月の月末まで利息計算の対象となる（たとえば、3月1日にカードでショッピングをした場合、すでに口座からその金額は引き落とされていても、3月31日に利息計算がなされるまで、最長 30 日間利息が付く）。
- 共同名義の場合は、それぞれの名義でカードが発行される（カード番号は同じ）。

カードの有効期限が近づくと、新しいカードが自宅に郵送されてくる。カードが届かない人は、カードを長期間使用していなかったために、カードが不要と判断されてしまっている可能性がある。カード更新時に長期間使用していない場合は、更新時に Santander から「カードは必要ですか」という問い合わせの手紙が届いているはずだが、それに回答していない場合、「カード不要」と判断される。

この場合は、カードが必要になった段階で、再発行してもらうことが可能（詳しくは P54 参照）。

④英ポンド建て小切手帳 GBP Chequebook

ゴールドの英ポンド口座を開設し、申請をした場合に発行される（後日依頼することも可能）。発行手数料は無料。小切手については P62 を参照のこと。

海外投資を楽しむ会 (AIC)

「ゴミ投資家」シリーズの制作スタッフを中心に 1998 年に設立。翌 99 年から海外投資の情報交換サイトを運営。
2014 年 7 月末現在で会員数約 17,300 人。

海外投資を楽しむ会 URL <http://www.alt-invest.com/>

海外投資実践マニュアル
オフショア
＜サンタンデール・プライベートバンキング＞

2009 年 9 月 25 日 初版第 1 刷発行
2012 年 11 月 20 日 PDF 版第 1 刷発行
2014 年 8 月 31 日 PDF 改定版第 1 刷発行

編著者 海外投資を楽しむ会

発行所 有限会社オルタ・インベスト・コム
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-13-6-901
FAX 0422-28-5006
<http://www.alt-invest.com>
E-mail: info@alt-invest.com

編集・DTP 有限会社パラダイス・ロスト
表紙デザイン 深沢英次

本書の全部、または一部を複写・複製、および磁気・光記憶媒体に入力することを禁じます。

Printed in Japan
©Alt Invest Com Ltd. 2014